

事業番号	05 07 11	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域包括ケア構築推進事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・局・室	介護支援課	
						E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-4 健康づくり・医療充実プロジェクト			実施期間	H24 ~		
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 1 高齢者福祉の推進						
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-4 賑わいのある快適な健康長寿のまち・むらづくり						
	施策展開	4-(3) 地域の絆に立脚する「しあわせ健康県」の実現 イ 医療・介護体制の整備 (ア) 地域包括ケア体制の構築						

1 事業の概要

目指す姿	医療、介護、生活支援等が切れ目なく提供される「地域包括ケア体制」の構築を推進し、誰もが自分らしく安心して住み慣れた地域で暮らせる社会の実現を目指す。		
現状（予算編成時）	市町村における地域包括ケア体制の整備に当たっては、市町村によって存在する医療・介護等の資源量や連携状況が異なるほか、取組の熟度にも大きな差があるため、多角的に市町村を支援することが必要である。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用する等しながら実施することが効果的である 介護保険法第5条第3項	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	○地域ケア会議設置日常生活圏域の割合（信州創生総合戦略の目標数値 H26:125(81%) → H29:155(100%)）					
	○退院調整の仕組みの構築（信州創生総合戦略の目標数値 H26:10二次医療圏中0圏域 → H29:全二次医療圏(10圏域)）					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績			
			H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)	
	1. 地域ケア会議サポート事業	直接	・広域支援員及び専門職の派遣（集中支援枠0市町村、一般支援枠14回派遣）	1,174	408	711
	2. 地域包括ケア推進研修事業	直接	・地域ケア会議運営等の実践力を養う研修会（1回164名）	298	169	1,314
	3. 多職種連携等研究事業	直接	・医療と介護との連携検討のため関係機関との打ち合わせ実施	192	0	192
	4. 入退院時ケアマネジメント推進事業	直接	・二次医療圏ごとに退院調整の仕組みを構築（2圏域）	571	0	0
5. 中山間地域介護サービス提供体制確保モデル事業	補助	・事業者が中山間地域等の居住者に在宅介護サービスを提供する場合に移動コストを軽減等	0	0	30,363	
6. 24時間対応介護サービス推進事業	直接	・定期巡回・随時対応型訪問看護・介護等24時間対応在宅ケアの仕組みの構築のため検討会・調査の実施	0	0	931	
7. 宅幼老所機能強化事業	直接	・宅幼老所の機能強化のため、研修会を開催等	0	0	557	
		合計	2,235	577	34,068	

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	7,606	2,235	34,068				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	7,606	2,235	34,068							
	Aの財源	一般財源			30,363	地域ケア会議設置日常生活圏域(全155)	125 (81%)	150 (97%)	152 (98%)	155 (100%)	達成	-
		県債				退院調整ルール策定(二次医療圏)累計	-	2/10	5/10	4/10	未達成	10/10
		国庫支出金	1,988									
		その他	5,618	2,235	3,705							
	決算額(B)	681	577									
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00								
	概算人件費(C)	16,552	15,828	15,828								
	概算事業費(B(A)+C)	17,233	16,405	49,896								

目標に対する成果の状況	○すべての市町村の日常生活圏域で地域ケア会議が設置された。また、地域ケア会議の充実を図るための研修、情報交換の場を設けた。 ○退院調整ルールは、新たに2圏域で策定された。未策定の圏域でも策定に向けて協議を進めている。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○地域ケア会議の運営能力の向上を図るため、新たに参加型の地域ケア会議ファシリテーション研修を実施する。 ○退院調整ルールについては、平成29年度の策定に向け、引き続き二次医療圏ごとに検討を進めていく。 ○中山間地域における訪問系介護サービスを確保するためのモデル事業を実施する。 ○事業所が連携した24時間在宅ケア体制の具体的な仕組みの提案を行い、市町村が主体となるモデル事業を実施する。
-------------------	--